

自浄するプラント

残し、活かし、教示する知恵と技術の培養箱



呉製鉄所の歴史

明治時代～戦時中・・・旧日本海軍呉工廠の兵器工場
戦争末期には激しい空襲にさらされ工場設備がほぼ破壊された。

戦後・・・民間の製鉄所

軍地の転換により民間の製鉄所として再生

長老的な建築物の存在

1945年の空襲で多数の爆弾を受けた
内部破壊に至るも構造破壊には至らず閉鎖まで使用



海軍工廠時代

軍艦用の鋼板の精錬工場

民間製鉄所時代

製品や原料の倉庫など

呉は現在は艦船、昔は航空機も製造。乗り物に縁がある。



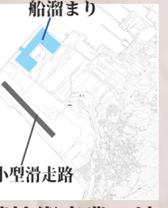
広島県呉市昭和町



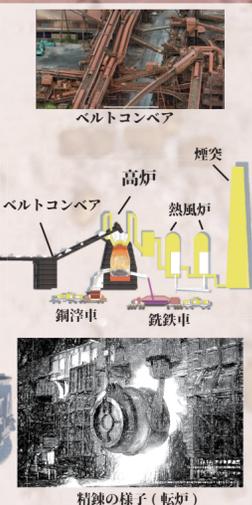
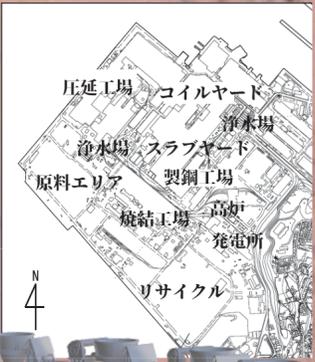
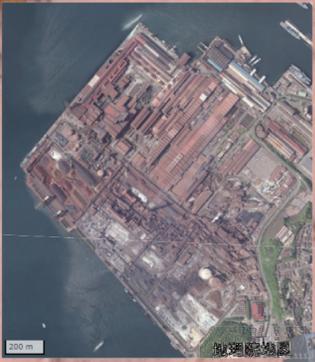
土地の変遷



建物の解体と並行して土地の記憶を既存建屋にとりいれていく。
既存のインフラを上壊浄化に転用、土地を浄化する。
既存岸壁に加え小型船の船溜まりを形成。



乗り物を中心とした先端技術産業の地へ



土地の方向性

観光・・・工業用地ならではの非日常の体験施設へ
工業・・・新たな産業を創造、既存産業の地盤強化へ
外国人労働者を含む労働者の育成
自然・・・汚染された土地を浄化する手法の開発

建築の方向性

これらの要素をただ無くすのではなく、活かすことでこれまでにない土地の可能性を開拓できるのではないか。

土地のアーカイブ保存

博物館、産業教育施設

解体した設備を旧倉庫に凝縮。地に根ざした人々の記憶を保存、一般の人々に技術の伝承、後継者への技術教育も行う。

閉ざされた土地の解放

レジャー施設

土地が誕生して以来工業用地として見学以外は一様に閉ざされていた土地を身近にし、付加価値を与える。

学びの場、試行の場

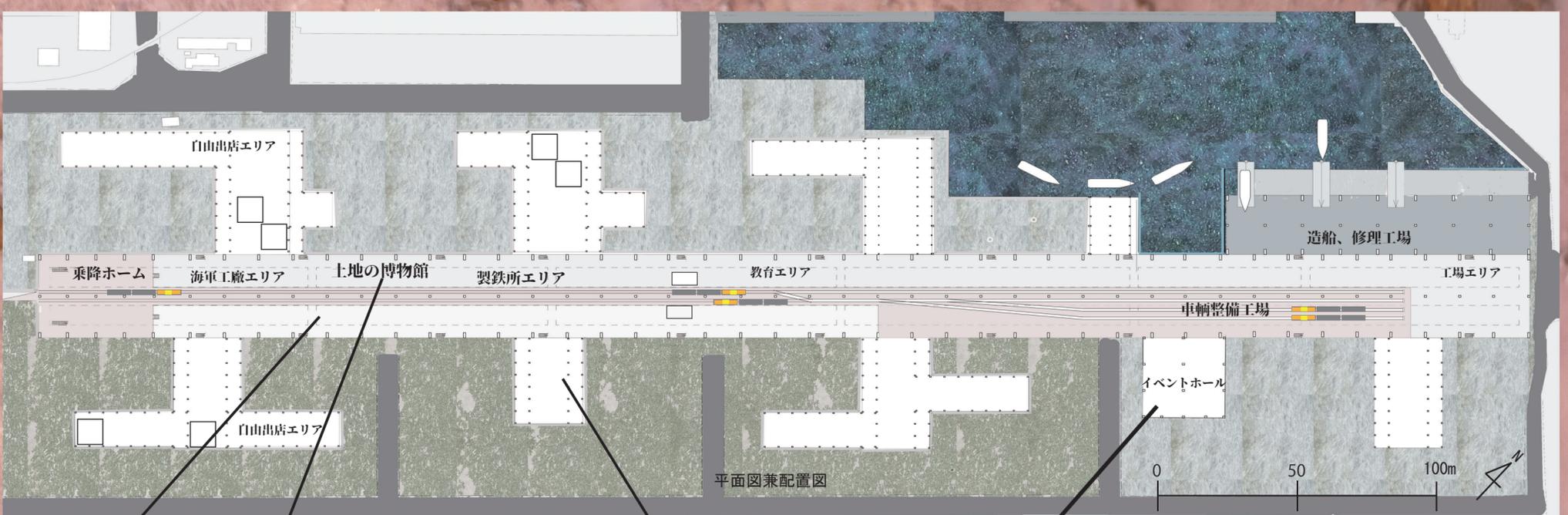
教育研究、試験施設

古くから工業が盛んであった地域柄と広大な土地インフラを活かしてものを考え、作り、試行するための土地として将来の日本技術をけん引する人材や企業を誘致する。

ものづくりの場

工場、工房へ

人口減少や他国との競争などによりものづくり産業の集約縮小が目立つが、我々が存続する限りものづくりへの需要はなくなると考える。そのため、この地が引き継ぎものづくりで活性化する余韻を残す。



博物館内観 製鉄体験 高炉の模型 自由出店スペース イベントホール 滑走路 役割を終えた高炉は解体され、倉庫に入る